



土浦協同病院新聞

第 69 号

発行所：土浦協同病院
おおつ野四丁目 1 番 1 号

発行人：家坂 義人

題 字：登内 眞

平成 30 年 1 月 15 日発行

平成 30 年度 年頭に寄せて

職員の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成 30 年の年頭に当たり、ご挨拶と年頭の所感を申し上げます。

土浦協同病院新病院は開院以来 1 年 10 ヶ月が経過して、いよいよ 3 年目を迎えようとしています。職員の皆様方にとっては、大変に多忙かつある意味、充実した 1 年ではなかったでしょうか。新病院が開院して以来、昨年末に至るまで、前年度の実績の 5% を超える新入院患者数の増加が継続しております。それに伴い、依然として新病院においては診療実績の顕著な増加傾向が同様の勢いで継続しています。前年と比較して、手術室内実施手術件数は約 8% の増加がみられています。カテ室内カテーテル手術（カテーテルアブレーション・カテーテルインターベンション）件数についても前年比、約 20% の増加がみられ、総件数 850 件となり、カテーテルアブレーションにおいては全国トップランクに返り咲きました。昨年度は一昨年度と比較して、更に新入院患者増に診療実績の増加も加わり、新病院 1 年目では 74,000 円であった入院診療単価が、昨年度半ばからは 77,000 円、



病院長
家坂 義人

10 月期には 79,000 円を超えて、80,000 円台へのアップも目前とされます。新病院移転 2 年目にみられる顕著な診療実績の向上は、新病院 1 年目の実績の積み重ねによるものであり、3 年目の本年は更に大きな期待をもって、当院を受診する患者数増加を前提に診療体制の強化拡充に努める必要があります。当院の救命救急センター集中治療部では、少数精鋭の救急診療科スタッフにより、月平均 650 台を超える救急車受け入れ、ヘリポートも活用され県内の広域救急医療へ向けても更なる貢献へ向け信頼と安心の救急医療の実践をお願いしたいと思います。県内の産婦人科医院の減少の影響による産婦人科外来患者増、分娩の当院への集中など全てを受け入れ、総合周産期母子医療センターの皆様には使命感をもって対応して頂きたいと思ひます。

新病院においては例年にも増して、国内トップレベルの高次救命救急医療・高度先進治療を推進し、総合周産期医療・予防医療・緩和医療・リハビリテーションなどに至る全分野において、病院全職員が一丸となつて取り組み、何時でも誰でも安心して受けられる、高次救命救急医療、高度先進医療から包括的地域医療の拠点病院を目指して、をモットーに、本年も、断らない（No Refusal）・待たせない（No Delay）・裏切らない（No Disappointment）医療の実践に向けて、地域医療の最前線であり且つ最後の砦であるとの認識と、献身の心（Dedication）を持つて、診療に当たって頂きたいをお願い致します。

年頭に寄せて



茨城県厚生農業協同組合
連合会 代表理事理事長
小堀 信弘

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまにはご健勝で新年をお迎えることとお慶び申し上げます。2018年「戌年」の年頭にあたり、平素より本会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

2017年を振り返りますと、1月に米国においてドナルド・トランプ氏が第45代大統領に就任いたしました。TPP（環太平洋経済連携協定）からの米国の離脱が改めて表明されましたが、11月には米国を除いた11カ国間でのTPP新協定の大筋合意が正式に発表されました。医薬品データの保護期間等を含む20項目は凍結される見込みですが農業分野への影響はもとより、医療分野への影響について注視していかなければなりません。

本会におきましては、昨年より、政策医療を担い地域医療を継続していくため、6病院を水戸市、高萩市、境町の3病院の水戸グループと、土浦市、行方市、取手市の3病院の土浦グループに分け、病院間連携によ

る「三位一体の運営」を実施しています。厚生連全体の医療資源の最適化を図り安定的な病院経営を通じた地域貢献を目指し取り組んでいます。また、昨年の4月より共済連の助成金を活用し、各連合会やJAにご協力を頂きながら人間ドックの割引キャンペーンを実施しています。地域に根差した病院として、皆さまの健康増進のため、予防医療の推進を図っております。

うれしいニュースとしては、この度土浦協同病院での医師の接遇向上の取り組みが評価され日総研の接遇大賞を受賞いたしました。今後も接遇マナーのさらなる向上を図り、皆さまの信頼に応え、安心してご来院いただけるよう、全職員が思いやりの心を持つて対応してまいります。

土浦協同病院は地域の皆さまのご支援によりここまで成長してまいりました。皆さまから選ばれる病院となるため、更なる患者サービスの向上を目指し、明るく豊かな地域づくりに寄与してまいります。

最後になりましたが、本年も皆さまにとつて健康で、かつ充実した一年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶に代えさせていただきます。



副院長兼看護部長
猪瀬 留美子

新年明けましておめでとうございます。皆さま方には、いつも温かいご支援をいただきまして深く感謝いたします。

早いもので、土浦協同病院も新病院に移転して間もなく3年目を迎えるようとしています。昨年は、お陰様で、地域の皆様から当院の役割をご理解していただき、お互いの協力体制が動き出したことを実感できる年でした。職員一同ハード面に負けないように、医療サービスのあたるべき姿を見据えながら、ソフト面の充実を図っていかなければならないと強く心しております。

今後、高齢化に拍車がかかり、一つの医療機関だけでの対応がますます難しくなってくるのが予測されます。当院も例外ではなく、現場の医師・看護師はじめ医療チームメンバーによる手厚い対応が必要とされています。また、このような患者さんの入院期間が長期化する傾向にあり、病床管理を行ううえでも現場での調整・工夫が行われています。

看護師の力も、急性期・慢性期か

学会／海外出張報告

イギリス・ロンドン

小児外科 神保 教広

灰色の空に小雨のもと、近代と中世の建築物が混在する魅力的な街で今年の国際小児内視鏡外科学会が開催された。数か月前に無差別テロの悲報が伝えられた時には、渡航を躊躇した時もあったが、世界各国の小児内視鏡外科医が集結する本学会に参加する事に、使命すら感じて参加を決意した。本学会では「教育委員会」

「Learning Center Station Coordinator」[Oral presentation]の3つの目的があった。教育委員会は先進国から発展途上国まで、垣根なく安全に小児内視鏡外科を行うための video library の作成や術式の標準化、更には発展途上国での内視鏡外科導入についての課題が話し合われた。"Learning Center" は本学会から新設された学会期間のみの全ての

の人に開かれた内視鏡外科トレーニングセッションであり、学会参加者はいつでも内視鏡手術の手ほどきが受けられるという試みだ。主に途上国のフェローやレジデントがセッションを訪れ、Basic skill から Advanced technique を教える役割を仰せつかった。最終日に口演での発表があった。

私の発表は、日本で主に行われている鼠径ヘルニアに対する単孔式腹腔鏡下根治術での対側腹膜鞘状突起の形態と異時性対側発症について、



「The pitfall of laparoscopic extraperitoneal closure regarding to the metachronous contralateral inguinal hernia」というタイトルで発表した。当院での診療で経験した異時性対側発症は、普及する腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術における今日のトピックスであり、将来的には多施設での検討が必要な合併症の一つである。

世界中の小児内視鏡外科医が集結する本国際学会は、今年も新たな発見と出会いに満ちた素晴らしい時間であり、次なる課題に向き合う時間となりました。この貴重な経験は当院の学会参加補助と温かく送り出して下さった上司・後輩、コメディカルの皆様の支えがあったからに他なりません。ありがとうございました。

スペイン・バルセロナ

循環器内科 濱谷 陸太

平成29年8月27日から31日に、スペイン・バルセロナで開催された

European Society of Cardiology (ESC) Congress 2017 に参加・発表して参りました。ESC Congress は循環器学会としては世界最大規模のものの一つであり、これに参加・発表出来る事は大変光栄な事でした。私は Coronary Flow capacity という新しい生理学的な指標を用いた臨床研究を発表しました。光栄にも poster に選出され賞状を頂きましたが、発表の場は思ったよりこじんまりしていました。大変勉強になる質問も頂き、非常に有意義でした。また昨年と比較し、少し英語が話せる

看護部 健康サポート委員会 健康教室のご案内

看護部健康サポート委員会では年間を通して健康教室を開催しております。お子様の緊急時の対応法や、ご自身やご家族の健康の保持増進及び病気に対する管理能力を高めていただくために、教室への参加をお待ちしています。

2月1日（木）14:00～15:30

2階会議室 一の木会

オストメイトのための社会資源

2月2日（金）14:30～15:00

小児科外来待合室 子どもの健康教室

事故予防について
（転倒・転落・誤飲）

ら在宅へと広がり、さらに「マネジメント力」を発揮することを期待されています。そこで、私たち看護師は自分たちの力を磨いて効果的な地域医療連携作りに積極的に関わってまいりたいと考えております。まさに、「組織作り」の時代から、「実際に立つ連携作り」を目指してまいります。

今年もさまざまな取り組みを通して、地域に根ざした中核病院として患者さまやご家族の方々に信頼され安心していただける医療・看護の質向上に向けて一層努力してまいります。今後も地域の皆さまの温かいご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年一年が皆さまにとりまして、幸せで実り豊かな年となりますことを心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



ようになっていたことが自覚でき、勉強を継続する効果が実感されました。やはり違う文化の方と議論する事は非常に刺激になり、今後も研究を進める大きなモチベーションとなりました。

バルセロナは原宿のように人がごった返しており、若者が喧嘩している所に巻き込まれそうになることもありました。最終日には内陸のサラゴサという地方都市を観光しました。ゴヤの絵や世界遺産の教会を見学し、研究のインスピレーションも得られた感がありました。この経験を糧に更に研究を進め、必ず論文として形に残したいと思っています。最後に、このような機会を作って下さった皆様、留守中患者さんを受け持って下さった先生方、スタッフ皆様に感謝申し上げます。

連載_第33回
DPC とベンチマーク

DPC 評価委員会委員長
情報システム管理室 船越 尚哉

2017 年 12 月 11 日社会保障審議会保険部会より、2018 年度診療報酬改定に向けての基本方針が示されました。4 視点から記述されています。

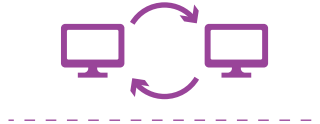
第 1 は 2025 年地域包括ケアシステム構築に向けての具体的な道筋が、診療報酬上で誘導されます。当院にとっては、大病院としての一層の機能分化と地域との連携強化が求められます。一般病棟入院基本料に対する考え方が根本的に変わります。第 2 はイノベーションに対する評価です。遺伝子検査や新術式など、効果的な行為は積極的に評価されます。また、遠隔医療や多施設間での情報共有の際に、セキュリティが担保された上で、ICT を活用すると評価されます。第 3 は働き方改革に対する評価です。子育て支援を想定した、人的要件の緩和などが予定されています。第 4 は効率的で適正な医療の評価です。言い換えると適正でない行為については評価が下がります。結果指標も重視されます。薬価の見直しも進みます。

12 月 18 日改定率が発表されました。医科 +0.63%、全体 -0.9% などとなっています。個別の項目が明示されるのはこれからですが、改定の影響は個別の医療機関で異なります。今後とも、名誉ある病院として適切な診療と請求業務を行なうために努力を重ねていきたいと思います。

①地域包括ケアシステム構築



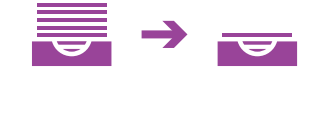
②イノベーション



③働き方改革



④効率的で適正な医療



部署紹介

— 附属保育所ひまわり —

宮本 登紀子

所長・園医であります小児科渡辺章充先生を中心に保育士 25 名、栄養部から調理師 2 名のスタッフで運営しております。真鍋からおおつ野に引越して増々大きくなり、玄関を入ってすぐ目に飛び込む長い廊下とガラス戸からは、広々とした園庭とプールを見渡すことができます。建屋は県内のスキ・ビノキを使った暖かみのある空間に仕上がっております。そんな建屋からは、毎日元気いっぱいの子どもの声が響いています。

保育目標は、「心身ともに健康で明るい子・誰でも仲良く遊べる子・心豊かで思いやりのある子」を基本に年間のカリキュラムを組んでいます。進級式から始まって卒園式まで季節ごとに行事を盛り込んでいます。就学前となるこの時期を、特に大切にしたいと思っています。これからも職員の皆様が仕事をしながら安心して子育てができるよう、子ども達が心身共に健康で過ごせるように力を合わせていきたいと思っています。



— NICU・GCU 病棟 —

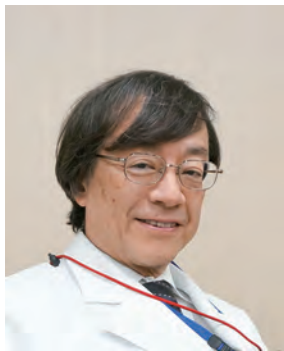
深澤 千映子

総合周産期母子医療センター新生児病棟は、NICU（新生児集中治療室）12 床と回復室（退院前の赤ちゃんの経過を見る病棟）によって構成されています。スタッフは新生児科医師、保健師、助産師、看護師、看護補助者の総勢 61 名です。赤ちゃんは早産低出生体重児や、呼吸が上手く出来ない、生まれながらの病気を持つ、外科的手術が必要な赤ちゃんたちが入院しています。院内で生まれた赤ちゃん以外にも、他施設で生まれた赤ちゃんが救急搬送され、入院することもあります。また、近隣の産院で早産が予測される場合は、新生児科医と看護師が救急車に同乗して分娩に立ち会い、処置を行った後で赤ちゃんを当院へ搬送することもあります。

入院する赤ちゃんは、母親と離れている分、面会時間を利用して沐浴や母乳をあげる練習を行い、育児技術に自信を持つてから退院しています。これからも、スタッフ一同、赤ちゃんのご家族に優しい病棟を目指して、サポートさせていただきます。



C 型肝炎の治療について



消化器内科 病院長代行
酒井 義法

C 型肝炎はほとんど治せる
病気になるしました

肝硬変、肝癌の原因の約 7 割は C 型肝炎ウイルスです。C 型肝炎ウイルスを排除することができれば肝硬変、肝癌の患者さんを減らすことが可能になります。C 型肝炎ウイルスに感染すると約 7 割の方が持続感染者となります。肝炎になっても自覚症状はほとんどありません。気づかないまま進行し、20、30 年で慢性肝炎から肝硬変・肝癌へと病気が進んでいきます。肝臓は沈黙の臓器なのです。日本では現在も年間約 3 万人の方が肝癌で亡くなっています。

C 型肝炎は治療薬の進歩でほとんど治せる病気になりました。以前はインターフェロンという注射薬で治療していました。熱が出たり、体がだるかったり副作用も多い治療でした。3 割近い患者さんは途中で治療を中止しました。また高齢の患者さんにはきつい治療でした。4 年前から C 型肝炎ウイルスに直接作用する内服薬を組み合わせて投与する治療が可能になりました。インターフェ

ロンより治療期間は短く、副作用はとても軽く、平均して 90% 後半の患者さんで C 型肝炎ウイルスの排除が可能になりました。途中で治療を中止する人も少なく、高齢の方にも安全に投与可能です。インターフェロン治療が不成功だった患者さんに対して内服薬の治療は高い有効性が確認されています。透析患者さんを含めた腎臓の悪い患者さんに対しても安全に投与できる薬も登場しています。

世界の C 型肝炎は 1 型から 6 型に分けられますが、日本国内の患者さんは殆どが 1 型と 2 型です。今までは 1 型と 2 型の治療は異なる薬で治療されていました。9 月にすべてのタイプ（病状の進んだ肝硬変の患者さんを除く）に有効で、さらに治療効果の高い薬が認可されました。また、いままでも内服薬の治療対象でなかった病状の進んだ肝硬変の患者さんに対する治療も進行中です。

まもなく C 型肝炎ウイルスを持つ患者さんすべてに対して治療が可能となります。自覚症状の乏しい病気ですので、肝炎検査を受けたことない方は積極的に C 型肝炎検査を受けることをお勧めします。

看護師会、茨城県農業協同組合中央会主催 クリスマスコンサート

看護部 看護師長
三上 たづ子

平成 29 年 12 月 19 日（火）総合待合ホールにて看護師会と茨城県農業協同組合中央会の主催するクリスマスコンサート『コボ☆クリ』が開催されました。

土浦協同病院に入院されている方やご通院されている方、また日頃よりお世話になっている近隣住民の皆様にも一足早いクリスマスの雰囲気と一緒に楽しんで頂こうというものです。子供から大人の方まで楽しんでもらう企画を中央会担当者と看護師会役員と準備してきました。前半は子供向けに『それいけ！アンパンマンショー』メインに、土浦市イメージキャラクターつちまるくんやロボットペッパー君とのグリーティング・撮影会を行い、後半は大人向けに土浦協同病院音楽部による演奏や外部招待のサクソアンサンブル演奏やミルキーウェーベルワイヤーによるハンドベル演奏が行われました。来院されている方も子供連れで立ち寄り、入院患者さんも車椅子で会場に降りて来られ、笑顔で手拍子を打ち、楽しそうにされていました。今後も誰でも笑顔になれる気軽に聴ける音楽会等の企画を考えて参ります。また企画運営に当たり茨城県農業協同組合中央会、茨城放送の方にもご協力をいただきましたこと感謝いたします。





リレー掲載30回 専門看護師・認定看護師リレー便り 「院内トリアージ」

救急看護認定看護師
村上 恵

年が改まり、厳しい寒さの中にもすがすがしさが感じられる日々、皆さま、ご健勝のことと存じます。今回は、救急外来での『院内トリアージ』について説明いたします。救急外来に来院され、ご存知の方もいるかと思いますが、医師の診察の前に看護師による問診が行われています。これが『院内トリアージ』です。救急外来で専門的な教育を受けた看護師が、患者さんの症状を伺い、血圧・脈拍・体内の酸素の値を測定しま

す。そして、症状や痛みの程度などから総合的に評価し緊急度を判定しています。患者さんの来院順ではなく、生命に関わるような状態の患者を見逃さないために行われています。この院内トリアージにより、生命に関わる心筋梗塞・脳卒中などの疾患が救急外来看護師により早期に発見され、迅速に診察・治療が行われている現状があります。今後も皆さまには院内トリアージをご理解の上、ご協力をお願いいたします。

院内トリアージの流れ

①窓口での受付

問診表の記入、血圧・体温などの測定

②問診

看護師による問診

③緊急度判定

症状や血圧などの情報から緊急度を判定し、診察の順番や適切な診察場所を決定

④医師の診察

緊急性の高い患者さんから診察

第3回日総研接遇大賞

大賞を受賞しました

接遇委員会委員長 副院長
滝口 典聡

日総研グループが行っている接遇大賞にて、当院が大賞を受賞しました。今年、ロールプレイを用いた職種別接遇研修を開催し、非常に多くの職員に参加していただきましたが、その活動が評価され、このような結果に繋がったと思います。職員の皆様にはご協力をいただき誠にありがとうございました。来年も患者さんが気持ちよく治療に専念できる病院を目指し、接遇に取り組んでまいりますので、これまで以上のご協力をよろしくお願い申し上げます。



接遇委員会メンバー



接遇研修の様子

ロールプレイを用いた接遇研修では、医師・看護師・コメディカル別に診療場面を設定し、「良い例」と「悪い例」を職員が演じた。参加者はまず悪い例をみて、具体的にどこが悪いのかを指摘し、その後、良い例をみる。参加者はロールプレイをみることで自然と「患者目線」を身につけることができる。



市民公開講座の報告

土浦市民公開講座

鹿行・土浦・筑波行脚

脳神経外科部長 山本 信二

当院の脳神経外科領域での最新医療機器を用いた治療を広く地域の住民に知っていただくため、学会シーズンの三日間（10月21日鹿行地域の鹿嶋市まちづくり市民センター、11月18日土浦地域土浦協同病院大講堂、11月25日つくば国際会議場）にわたり市民公開講座を行った。メインテーマは「土浦協同病院の最新機器を用いた先端医療」で、脳卒中・てんかんなど、診断・治療からリハビリテーションまで」とし、その内容として、『脳卒中の治療・脳梗塞を中心に』『頭部外傷の治療とモニタリング』『脳腫瘍、てんかんの治療』『脳腫瘍の放射線治療』『脳卒中急性期リハビリテーションの概要と新しい評価、治療法（放射線治療はつくば市のみ）の5つを取り上げた。

参加者に対するアンケート結果はまずまずの評判（『新病院のCMを聞いている様な場面があった』との意見もありましたが、まさにそのための講演です！）だったように思うが、なにより参加人数が少なく、どれ程の宣伝効果があるかは疑問の残るところである。むしろ当方としては、同行スタッフの「脳神経外科はこんなことをやっているんだ」のコメントが意外であった（まあ、他科のやっていることは中々



つくば国際会議場での様子

分らないですよね。今後、職員からの口コミで評判が広がっていくことに期待したい。

不整脈治療の最前線

循環器内科部長 蜂谷 仁

平成29年11月25日土曜日につくば国際会議場において第4回市民公開講座「最新の医療機器を用いた不整脈治療の最前線」を開催いたしました。家坂義人院長より日本で最初のアブレーション治療から始まる当科の歴史について触れていただいたのち、まずは菅野昭憲先生による①心不全患者に対するペースメーカー治療より講座が開始されました。久佐茂樹先生による②心内リードを用いない最新のペースメーカー、除細動システムの植込み経験、山尾一哉先生による③心房細動アブレーション治療、そのターゲットは何か？、梶山貴嗣先生・五十嵐都先生による④発作性心房細動、⑤持続性心房細動、アブレーション治療の最前線について、すべて聴衆の方々にわかりやすい、そして印象深い話を提供することができました。

「心不全」とはどういう状態か、心房細動は治るのか？市民の方々からの質問は我々にとっても常に頭に留めておくべき重要なことでした。

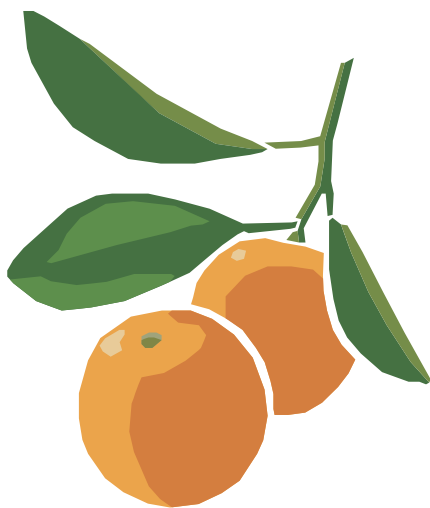
我々医師も本会開催により勉強させていただきました。年に1度この市民公開講座を続けていく所存でありますので今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

ちょっと一息

金柑の栄養について

管理栄養士 高木 知江美

さわやかな香りと酸味、甘味とほろ苦さが特徴の金柑は1月～3月に旬を迎えます。皮ごと食べられる金柑にはビタミンAやCが多く含まれ、ともに粘膜を強くする作用があり風邪の予防に役立ちます。金柑特有のほろ苦味と芳香が胃を刺激して食欲増進にもつながります。金柑のレシピにチャレンジしてみたい方はいかがでしょうか？



金柑の砂糖煮

材料（2～3人前）

金柑 10個 砂糖 40g

※血糖値が気になる方はゼロカロリーの人工甘味料を使用してもよいでしょう

つくりかた

- ① きんかんをきれいに洗い、包丁で皮に縦の切れ目を入れる。
- ② 鍋にたっぷりの水と金柑を入れて火にかけ、沸騰したら煮汁を捨てる。これは苦味をとるためなので苦味を楽しみたい方はそのまま味付けしてください。
- ③ あらためて鍋に金柑とひたひたの水、砂糖を入れて火にかけ、つやがでるまで煮詰める。砂糖は金柑の1.5倍～2倍程度を目安とする。

金柑大根

材料（2～3人前）

金柑 6個 皮をむいた大根 300g 塩 小さじ1

酢・砂糖 各小さじ1

つくりかた

- ① きんかんは横半分に切り、竹串で種を除いて薄切りにする。大根はいちょう切りにしてポリ袋に入れ塩小さじ1を加えてもむ。
- ② 水が出たら砂糖・酢各小さじ1を加えてまぜ、1時間ほど味をなじませる。

視点

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年の筑波嶺の年頭所感において、「1年前の新病院開院当初、予期していたとはいえ、毎朝、幹線道路から病院に至る側道に数百メートルの患者さんの車列が出現し、十分過ぎる程のスペースを設けた病院エントランス・ホールが患者さんで溢れかえりました。」といった書き出しで始めたことを記憶しています。当時は、患者さん・職員が新病院の運用に不慣れなための混雑と単純に片付けていましたが、今、振り返ってみますと、新病院への強い関心と期待をもった新規の患者さんが、数多くおいで頂いた結果であったと想像しております。

新病院開院以来2年が過ぎ、3年目を迎えようとしています。毎月の紹介を含む新患外来患者数・新入院患者数は、未だに前年同期と比較して、常に5%程度を超える伸びをみせています。紹介患者数の増加は顕著であり、紹介・逆紹介率は75%・60%と新病院において一挙に増加しました。平均在院日数においては、新病院1年目では11日台、2年目では10日台となり、短縮傾向が継続しており、現在は10日台まで短縮しました。先に述べました新入院患者数の増加も持続しており、入院診療実績についても大幅な向上がみられています。我が国有数の大病院に匹敵する規模と設備の手術室・カテ室を存分に稼働させ、昨年のカテーテルアブレーション治療実績は、我が国トップランクの年間850件と過去最高であり、手術件数においても過去最高の6,700件に達しました。新病院の開院以来一年九か月が経った現在も、途切れることなく受診者数・新入院患者数・診療実績の増加が継続しています。

何時でも誰でも、安心して受けられる、高次救命救急医療、高度先進医療から包括的地域医療の拠点病院として、断らない・待たせない・裏切らない医療の実践を通して、職員一同、本年も気持ちを新たに、地域の方々の健康に貢献して参ります。